

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【公表番号】特表 2019-514648 (P2019-514648A)
【公表日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)
【年通号数】公開・登録公報 2019-021
【出願番号】特願 2019-507078 (P2019-507078)
【国際特許分類】

A 6 1 B 17/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/22

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 6 日 (2020.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

血管から凝血塊を除去する機械的血栓除去装置であって、
遠位端および遠位端開口部を有する可撓性カテーテルと、
前記カテーテル内に延在し、前記カテーテルの遠位端上で反転し、前記カテーテルの外
径に沿って延在する可撓性ベルトを有するトラクタと、
前記カテーテルの遠位端開口部上で反転するように、前記カテーテルの周りで前記トラ
クタを駆動するように構成された、前記可撓性カテーテルの近位端の動力駆動部と、
ガイドワイヤを通すように構成された、前記カテーテルおよびトラクタを通るガイドワ
イヤ管腔と
を具えることを特徴とする、機械的血栓除去装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の装置において、前記可撓性ベルトが、可撓管を具えることを特徴とす
る、装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の装置において、前記トラクタが、複数の可撓性ベルトを具え、前記複
数の可撓性ベルトが、それぞれ前記カテーテル内に延在し、前記カテーテルの遠位端開口
部上で反転し、前記カテーテルの外径に沿って延在することを特徴とする、装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の装置において、前記動力駆動部は、前記カテーテルの外面で前記可撓
性ベルトと係合するように構成されていることを特徴とする、装置。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の装置において、前記動力駆動部は、前記カテーテルおよびトラクタを
取り囲む環状リングを具えることを特徴とする、装置。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の装置において、前記可撓性カテーテルおよびトラクタを取り囲むよう
に構成された外側カテーテルを更に具え、前記可撓性カテーテルおよびトラクタは、前記
外側カテーテル内にある状態で体内に挿入され得ることを特徴とする、装置。